

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年10月12日(2017.10.12)

【公表番号】特表2016-530312(P2016-530312A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-542055(P2016-542055)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/81	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 K	6/083	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/34	(2017.01)
A 6 1 K	33/16	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2006.01)
A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 K	33/06	(2006.01)
A 6 1 K	33/42	(2006.01)
A 6 1 K	8/34	(2006.01)
A 6 1 K	8/33	(2006.01)
A 6 1 K	47/22	(2006.01)
A 6 1 K	47/24	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 Q	11/00	(2006.01)
A 6 1 C	13/00	(2006.01)
A 6 1 C	13/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/81
A 6 1 P	1/02
A 6 1 K	6/083
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	47/10
A 6 1 K	47/08
A 6 1 K	47/32
A 6 1 K	9/08
A 6 1 K	47/34
A 6 1 K	33/16
A 6 1 K	33/24
A 6 1 K	33/30
A 6 1 K	33/06
A 6 1 K	33/42
A 6 1 K	8/34
A 6 1 K	8/33
A 6 1 K	47/22
A 6 1 K	47/24

A 6 1 K	47/14
A 6 1 Q	11/00
A 6 1 C	13/00
A 6 1 C	13/08

B
A

【手続補正書】

【提出日】平成29年8月30日(2017.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

口腔用組成物であって、

水と、低級アルキルアルコール、アセトン、及びこれらの組み合わせから選択される共溶媒と、を含む、溶媒、

酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、

中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに

任意に活性剤、を含み、

前記口腔用組成物が、約6重量%～約18重量%の水、約30重量%～約80重量%の共溶媒、合計で約15重量%～約50重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含み、各構成成分の重量%は、前記口腔用組成物の総重量に基づいており、

前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解され、

前記口腔用組成物が、水溶液と接触すると、表面上に被膜を形成することができる、口腔用組成物。

【請求項2】

前記口腔用組成物が、約8重量%～約12重量%の水を含み、前記口腔用組成物が、約45重量%～約60重量%の前記共溶媒を含む、請求項1に記載の口腔用組成物。

【請求項3】

口腔用組成物であって、

低級アルキルアルコール、T H F、D M S O、イオン性液体、T E C、酢酸エチル、アセトン、及びこれらの組み合わせから選択される溶媒、

酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、

中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに

任意に活性剤、を含み、

前記口腔用組成物が、約30重量%～約80重量%の溶媒、合計で約15重量%～約50重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含み、各構成成分の重量%は、前記口腔用組成物の総重量に基づいており、

前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解され、

前記口腔用組成物が、水溶液と接触すると、表面上に被膜を形成することができる、口腔用組成物。

【請求項4】

前記口腔用組成物が、前記口腔用組成物が水と接触した後約30秒未満で被膜を形成することができる、請求項3に記載の口腔用組成物。

【請求項5】

前記口腔用組成物の稠度が、約45～約110である、請求項3又は4のいずれかに記載の口腔用組成物。

【請求項6】

前記溶媒が、イソプロパノール、プロピレングリコール、グリセリン、低分子量ポリエチレングリコール、エチレングリコール系エステルアルコール、及びこれらの組み合わせから選択される少なくとも1つの追加成分を更に含む、請求項3～5のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項7】

前記酸性コポリマーの分子量が、約5,000～約500,000であり、前記中性コポリマーの分子量が、約10,000～約100,000である、請求項3～6のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項8】

前記口腔用組成物が、合計で約20重量%～約48重量%の前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーを含む、請求項1～7のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項9】

前記被膜が、表面を少なくとも5ストロークブラッシングした後に、前記表面の少なくとも90%にとどまる、請求項4～8のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項10】

前記口腔用組成物が、塩基性アクリレートモノマー単位、塩基性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む塩基性コポリマーを更に含み、前記口腔用組成物が、約0重量%～約1.0重量%の前記塩基性コポリマーを含む、請求項3～9のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項11】

前記塩基性コポリマーと前記酸性ポリマーとの重量比が、約0～約1：10であり、前記塩基性コポリマーと前記酸性ポリマーとの重量比が、約1：100～約1：15である、請求項10に記載の口腔用組成物。

【請求項12】

前記活性剤が、増白剤、抗う蝕剤、フッ化物送達剤、抗歯肉炎剤、歯石防止剤、抗歯垢形成剤、歯周活性剤、息清涼剤、悪臭抑制剤、歯の減感作剤、唾液分泌促進剤、矯味剤、バイオフィルム破壊剤、抗菌剤、麻酔剤、鎮痛剤、汚れ除去剤、着色剤、再石灰化剤、歯石軟化剤、及びこれらの組み合わせから選択され、前記活性剤が、フッ化物組成物である、請求項3～11のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項13】

前記活性剤が、少なくとも24時間にわたる徐放性のフッ化物放出を提供する、請求項3～12のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項14】

前記活性剤が、少なくとも2つの異なるフッ化物塩を含む、請求項3～13のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項15】

前記活性剤が、フッ化ナトリウム、フッ化ストロンチウム、フッ化カルシウム、フッ化亜鉛、塩化カルシウム、硝酸カルシウム、リン酸カルシウム、リン酸水素カルシウム、リン酸二水素カルシウム、及びこれらの組み合わせから選択される、請求項3～14のいずれか一項に記載の口腔用組成物。

【請求項16】

口腔用組成物を歯科構造体に送達する方法であって、

口腔用組成物を提供することと、

前記口腔用組成物を前記歯科構造体に適用することと、

前記口腔用組成物を水溶液と接触させて、それにより前記歯科構造体上にポリマー被膜を形成することと、を含み、

前記口腔用組成物が、

水と、低級アルキルアルコール及びアセトンから選択される共溶媒と、を含む、溶媒、酸性アクリレートモノマー単位、酸性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む酸性コポリマー、

中性アクリレートモノマー単位、中性メタクリレートモノマー単位、又はこれらの組み合わせを含む中性コポリマー、並びに

任意に活性剤、を含み、

前記酸性コポリマー及び前記中性コポリマーが、前記口腔用組成物中に溶解されている、方法。